



平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年8月4日

上場会社名 株式会社ベンチャーリパブリック 上場取引所 大
 コード番号 2177 URL <http://www.vrg.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 柴田 啓
 問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 柴田 健一 (TEL) 03(6419)2901
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年12月期第2四半期の業績（平成23年1月1日～平成23年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年12月期第2四半期 | 869 | 12.5 | 127 | 98.2 | 127 | 95.2 | 71 | 102.2 |
| 22年12月期第2四半期 | 773 | 6.2 | 64 | 133.3 | 65 | 116.2 | 35 | 81.9 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年12月期第2四半期 | 81.64 | 80.77 |
| 22年12月期第2四半期 | 42.14 | 41.43 |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年12月期第2四半期 | 1,141 | 907 | 78.1 | 1,011.13 |
| 22年12月期 | 1,047 | 838 | 79.0 | 940.27 |

（参考）自己資本 23年12月期第2四半期 891百万円 22年12月期 827百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| | 第1 四半期末 | 第2 四半期末 | 第3 四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年12月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 23年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 23年12月期（予想） | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

（注）当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の業績予想（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|------------|----------|----------|----------|----------------|
| | 百万円 % | 百万円 % | 百万円 % | 百万円 % | 円 銭 |
| 通 期 | 1,820 12.7 | 206 54.3 | 207 52.0 | 103 51.1 | 117.81 |

（注）当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 23年12月期2Q | 1,025,200株 | 22年12月期 | 1,025,200株 |
| 23年12月期2Q | 143,848株 | 22年12月期 | 145,333株 |
| 23年12月期2Q | 880,778株 | 22年12月期2Q | 843,911株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」を御覧下さい。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報..... | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報..... | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報..... | 3 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報..... | 4 |
| 2. その他の情報..... | 4 |
| (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要..... | 4 |
| (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要..... | 4 |
| 3. 四半期財務諸表..... | 5 |
| (1) 四半期貸借対照表..... | 5 |
| (2) 四半期損益計算書..... | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書..... | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記..... | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... | 8 |

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国向け輸出の回復や政府の経済対策等によって個人消費の持ち直しが見られたものの、東日本大震災の発生により経済活動は急速に落ち込み、また、電力不足問題や原発の事故処理などもあることから依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方で、当社の事業に関連する一般消費者向け電子商取引分野（BtoC EC分野）においては、平成22年の日本国内のBtoC EC市場規模は前年比16.3%増の約7.8兆円（※1）と堅調に成長しており、また、平成22年のインターネット広告費は7,747億円（※2）と、他の媒体が減少あるいは伸び悩むなかで前年比9.6%増と成長を続けております。

このような状況のもと、当社は平成22年7月に発表した中期経営計画（※3）に基づき、「取扱商品のカテゴリー拡大」「こだわり消費機能の向上」「収益力の強化」および「パートナーシップの強化」に取り組んでまいりました。

その結果、当社が運営する全サイトの訪問数は、震災の影響等で一時的な落ち込みがあったものの、月間サイト訪問数（6カ月平均）は994万（前年同期比13.6%増）となりました。旅行需要が落ち込む厳しい環境のなか、旅行比較サイト『Travel.jp』が堅調に推移したことに加え、価格比較サイト『コネコネット』およびカタログ通販比較サイト『通販.ne.jp』の収益性向上が全社の増収に貢献いたしました。

以上より、当第2四半期累計期間の売上高は869,800千円（前年同期比12.5%増）、営業利益は127,382千円（前年同期比98.2%増）、経常利益は127,686千円（前年同期比95.2%増）、四半期純利益は71,907千円（前年同期比102.2%増）となりました。

（※1）

経済産業省「平成22年度我が国情報経済社会における基盤整備」（電子商取引に関する市場調査）平成23年6月

（※2）

株式会社電通「2010年 日本の広告費」平成23年2月23日

（※3）

中期経営計画については当社IRサイトに掲載しております。 <http://www.vrg.jp/ir/>

当社は、事業セグメントを単一セグメントに集約しております。

なお、事業部門別の業績は次のとおりであります。

（トラベル関連業務）

3月に発生した震災の影響で旅行需要全体が落ち込む厳しい環境のなか、航空券、ツアーをまとめて検索・比較できる『Travel.jp』の月間サイト訪問数は、一時的な落ち込みがあったものの、最需要期の夏季に向けて上昇傾向にあることから当第2四半期累計期間の6カ月平均では177万（前年同期比8.1%増）となりました。

また、広告メニュー改定等による売上増加施策を実施したことや、モバイルサイトの売上が増加したこともあり、当第2四半期累計期間の売上高は516,182千円（前年同期比8.3%増）となりました。

なお、平成23年6月末の掲載旅行商品数は44万点（前年同期は61万点）となっております。

(プロダクト&サービス関連業務)

価格比較サイト『コネコネット』では、ショッピングサーチ分野を中心に掲載ショップが増加したことにより、平成23年6月末の掲載商品数は4,042万点(前年同期は3,186万点)となりました。

サイト訪問数については、震災の影響等により一時的な落ち込みがありました。年初から2月まで前年を大幅に上回る水準で推移したことで、当第2四半期累計期間の6カ月平均は620万(前年同期比9.8%増)となりました。

また、収益力強化策や広告メニュー改定によって、ファッションなどの商品分野を中心に売上が大きく成長いたしました。

さらに、カタログ通販比較サイトの『通販.ne.jp』においても、サイト訪問数の大幅な増加と、通販各社との関係に基づく販促活動が功を奏し、プロダクト&サービス関連業務の増収に貢献いたしました。

以上により、当第2四半期累計期間の売上高は353,617千円(前年同期比19.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は1,141,153千円(前事業年度末比93,923千円の増加)(前事業年度末比9.0%増)となりました。主な要因は、現金及び預金の増加115,646千円や敷金の回収等による投資その他の資産の減少22,003千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は233,983千円(前事業年度末比25,500千円の増加)(前事業年度末比12.2%増)となりました。主な要因は、未払金の増加18,152千円や未払法人税等の増加5,199千円であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は907,170千円(前事業年度末比68,423千円の増加)(前事業年度末比8.2%増)となりました。主な要因は、四半期純利益の計上71,907千円や配当金の支払8,798千円によるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は78.1%(前事業年度末比0.9ポイント減)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高(以下「資金」という。)は、619,275千円(前事業年度末比115,437千円の増加)となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動により取得した資金は、118,977千円となりました。これは、主に税引前四半期純利益127,686千円や減価償却費の計上17,783千円、法人税等の支払50,585千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により取得した資金は、4,416千円となりました。これは、主にサーバー等の取得による支出15,646千円や敷金の回収による収入20,754千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により支出した資金は、7,956千円となりました。これは、配当金の支払8,695千円やストック・オプションの行使による収入739千円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年12月期の業績見通しについては平成23年7月27日に公表した内容に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

(一般債権の貸倒見積高の算定方法)

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる損益への影響はありません。

② 表示方法の変更

(四半期キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期累計期間において区分掲記しておりました「貸倒引当金の増減額」は、少額であるため、当第2四半期累計期間では営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しております。

なお、当第2四半期累計期間における「貸倒引当金の増減額」の金額は63千円であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期会計期間末 (平成23年6月30日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年12月31日) |
|--------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 820,996 | 705,349 |
| 売掛金 | 156,253 | 153,414 |
| その他 | 27,139 | 31,143 |
| 貸倒引当金 | △1,796 | △1,764 |
| 流動資産合計 | 1,002,592 | 888,143 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 64,567 | 61,649 |
| 無形固定資産 | 17,727 | 19,166 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 61,090 | 83,063 |
| 貸倒引当金 | △4,823 | △4,792 |
| 投資その他の資産合計 | 56,267 | 78,271 |
| 固定資産合計 | 138,561 | 159,087 |
| 資産合計 | 1,141,153 | 1,047,230 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 10,369 | 12,032 |
| 未払金 | 102,089 | 83,936 |
| 未払法人税等 | 57,974 | 52,774 |
| ポイント引当金 | 15,415 | 14,224 |
| その他 | 48,035 | 45,515 |
| 流動負債合計 | 233,883 | 208,483 |
| 固定負債 | | |
| その他 | 100 | — |
| 固定負債合計 | 100 | — |
| 負債合計 | 233,983 | 208,483 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 307,066 | 307,066 |
| 資本剰余金 | 327,319 | 327,319 |
| 利益剰余金 | 394,223 | 331,794 |
| 自己株式 | △137,451 | △138,870 |
| 株主資本合計 | 891,157 | 827,309 |
| 新株予約権 | 16,012 | 11,437 |
| 純資産合計 | 907,170 | 838,747 |
| 負債純資産合計 | 1,141,153 | 1,047,230 |

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 773,329 | 869,800 |
| 売上原価 | 178,463 | 183,295 |
| 売上総利益 | 594,865 | 686,504 |
| 販売費及び一般管理費 | 530,583 | 559,121 |
| 営業利益 | 64,282 | 127,382 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 378 | 268 |
| 負ののれん償却額 | 876 | — |
| その他 | 118 | 39 |
| 営業外収益合計 | 1,374 | 308 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 218 | — |
| その他 | 13 | 4 |
| 営業外費用合計 | 231 | 4 |
| 経常利益 | 65,425 | 127,686 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 47 | — |
| 特別利益合計 | 47 | — |
| 税引前四半期純利益 | 65,472 | 127,686 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 29,909 | 55,778 |
| 四半期純利益 | 35,563 | 71,907 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 65,472 | 127,686 |
| 減価償却費 | 16,836 | 17,783 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △66 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 2,462 | △2,838 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △1,692 | △1,663 |
| 負ののれん償却額 | △876 | — |
| その他 | 14,913 | 28,280 |
| 小計 | 97,049 | 169,248 |
| 利息の受取額 | 339 | 313 |
| 法人税等の支払額 | △332 | △50,585 |
| 法人税等の還付額 | 4,431 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 101,487 | 118,977 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △14,356 | △15,646 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △9,384 | △482 |
| 敷金の回収による収入 | 6,620 | 20,754 |
| その他 | — | △208 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △17,121 | 4,416 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| ストックオプションの行使による収入 | 20,670 | 739 |
| その他 | △8,115 | △8,695 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 12,554 | △7,956 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 96,921 | 115,437 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 562,950 | 503,837 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 659,871 | 619,275 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。